



入ったお金と

歳出

問い合わせ
財政課 ☎ 38-2011



使ったお金をお伝えします。

全体概要

令和元年度は、「芦屋市創生総合戦略」および「行政改革実施計画」を踏まえ、「住宅都市としての魅力向上」および「将来の人口減少または人口構成の変化への対応」について重点的に予算を編成し、執行しました。

一般会計の決算規模は、市営住宅の大規模集約事業の完了などにより減少しました。歳入歳出の差引額から翌年度への繰越財源を除いた令和元年度の実質的な黒字額は、7億8,758万1千円でした。

※財政健全化法に定められている4つの財政指標は、いずれも財政運営での言わば黄色信号となる「早期健全化基準」を下回っています。

①歳入総額(1年間の収入の総額)	418億1,147万1千円
②歳出総額(1年間の支出の総額)	403億7,782万6千円
③歳入歳出差引 (収入から支出を引いた額①-②)	14億3,364万5千円
④繰越財源(令和2年度に繰り越す事業に充てる財源額)	6億4,606万4千円
⑤実質収支(実質的な黒字額③-④)	7億8,758万1千円

歳入 418億1,147万1千円 … 前年度に比べ25億1,922万3千円(5.7%)の減少

市営住宅の大規模集約事業の完了に伴い市債(借金)の借入れが21億4,925万9千円(47.0%)減少する一方、歳入の約半分を占める市税が14億4,279万2千円(6.4%)増の241億4,652万1千円となり、財政基金(貯金)を取り崩すことなく財政運営を行うことができました。

その他、令和元年度に芦屋市にいただいたふるさと寄附金は、776件で約3,431万円となり、病児・病後児保育事業などに活用しました。一方、市民の皆さんが他の自治体等に行ったふるさと寄附による寄附金税額控除により、市民税が約6億1,440万円の減収となりました。

歳出 403億7,782万6千円 … 前年度に比べ29億5,771万1千円(6.8%)の減少

※〔 〕は令和元年度の事業費です

